

一 今あるに於ては、
其の事

一 今あるに

一 今あるに

一 今あるに

一 今あるに

一 今あるに

一 今あるに

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

山白梅

方知此種花者

修德修德

山中多花
日月平

此花者乃山中花也其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

其花之紅如血其花之紅如血

一 ちんちん ちんちん
一 ちんちん ちんちん
一 ちんちん ちんちん
一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 ちんちん ちんちん

一 漢 漢 漢 漢
一 金 金 金 金
一 理 理 理 理

金 金 金 金
金 金 金 金
金 金 金 金

金 金 金 金
金 金 金 金
金 金 金 金
金 金 金 金

一 金 金 金 金
一 金 金 金 金
一 金 金 金 金
一 金 金 金 金

金 金 金 金
金 金 金 金
金 金 金 金

一 金 金 金 金
一 金 金 金 金
一 金 金 金 金
一 金 金 金 金

金 金 金 金
金 金 金 金
金 金 金 金
金 金 金 金

金 金 金 金
金 金 金 金
金 金 金 金
金 金 金 金

卷之四

平山堂

代王孫云云
下村
王孫云云
下村
王孫云云
下村

五

張

陽

Handwritten signature or title in cursive script, possibly reading "Shinshu" or similar.

正徳三年

四月

日

辰

Handwritten text at the top of the right page, possibly a date or location.

Handwritten text in the center of the right page, possibly a title or main entry.

Handwritten text on the left side of the right page, continuing the narrative or list.

Handwritten text in the middle of the right page.

Handwritten text at the bottom of the right page.

Handwritten text on the left side of the left page.

Handwritten text on the left side of the left page.

Handwritten text on the left side of the left page.

Main body of handwritten text on the left page, written in vertical columns.

[illegible]

[illegible]

西本

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

八月九日

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

八月九日

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

八月九日

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

一 山本堂元留書をみる 山本堂元留書をみる

是位は様々の心と事とを思ひて之を成す

なり此は法新の心なり

其の心は法新の心なり此は法新の心なり

其の心は法新の心なり此は法新の心なり

其の心は法新の心なり此は法新の心なり

其の心は法新の心なり此は法新の心なり

其の心は法新の心なり此は法新の心なり

乙月

其の心は法新の心なり此は法新の心なり

其の心は法新の心なり此は法新の心なり

其の心は法新の心なり此は法新の心なり

其の心は法新の心なり此は法新の心なり

卜中官有信如卜所至

九月廿九日

一、
二、
三、
四、
五、

九月

[illegible]

萬福寺主

乃其為

[illegible]

但見此乃天下事。當以爲凡因式。亦本
爲少中。吾雖不知。何一。所見。其。掛。展。

身知此理，宜為主法。今抄本像。

海に遊ぶと云ふは御座るべき事

九月一日
一、海に遊ぶは遠くまで行く事
二、海に遊ぶは舟に乗る事
三、海に遊ぶは魚を捕る事
四、海に遊ぶは貝を採る事
五、海に遊ぶは潮を渡る事

海に遊ぶは舟に乗る事
舟に乗るは舟の大きさに依る事
舟の大きさは舟の人数に依る事
舟の人数は舟の大きさに依る事
舟の大きさは舟の人数に依る事
舟の人数は舟の大きさに依る事

九月一日

九月一日
舟に乗る事

舟に乗る事
舟に乗るは舟の大きさに依る事
舟の大きさは舟の人数に依る事
舟の人数は舟の大きさに依る事
舟の大きさは舟の人数に依る事
舟の人数は舟の大きさに依る事

舟に乗る事
舟に乗るは舟の大きさに依る事
舟の大きさは舟の人数に依る事
舟の人数は舟の大きさに依る事
舟の大きさは舟の人数に依る事
舟の人数は舟の大きさに依る事

舟に乗る事
舟に乗るは舟の大きさに依る事
舟の大きさは舟の人数に依る事
舟の人数は舟の大きさに依る事
舟の大きさは舟の人数に依る事
舟の人数は舟の大きさに依る事

舟に乗る事
舟に乗るは舟の大きさに依る事
舟の大きさは舟の人数に依る事
舟の人数は舟の大きさに依る事
舟の大きさは舟の人数に依る事
舟の人数は舟の大きさに依る事

舟に乗る事

所傳仙史傳授
此所遺跡也
修之者多矣

修心者多矣
修心者多矣
修心者多矣

仁徳天皇御宇

仁徳天皇

上皇北宮門下
一過
中書省同
皇太子
加利子

皇太子
一過
皇太子
加利子

皇太子
加利子

皇太子
一過
皇太子
加利子

皇太子
加利子

皇太子
加利子

皇太子
加利子

久矣

勿謂不爲而收效之速也
其爲物之易也尤多矣

九
月
九
日

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

九月九日

[illegible]

[illegible]

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

九月廿六

上總作事者人必欲其長也抑之則其長
也台者片也惟其台者古語有云
何如者一也

上以書自序

[illegible]

